

# ◆ 第 6 学年 ◆

参加人員	平均点
3,978人	65.74点

得点分布表

得点分布	0～ 9	10～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80～ 89	90～ 99	100 点	標準偏差	平均点 (点)
百分率 (%)	0.2	0.7	4.0	7.4	9.3	13.5	14.2	17.3	14.0	15.4	4.0	21.36	65.74

問題別正答率

問題番号				観点	正答率	問題番号				観点	正答率
[1]	[あ]		①	知識・技能	63.6	[6]	[あ]		⑫	知識・技能	75.1
	[い]		②	知識・技能	77.4		[い]		⑬	知識・技能	78.6
	[う]		③	知識・技能	56.0		[う]		⑭	知識・技能	49.6
[2]		④	思考・判断・表現	44.5	⑮			思考・判断・表現	44.1		
[3]	[あ]		⑤	知識・技能	89.0	[7]	ア		⑯	知識・技能	47.6
	[い]		⑥	知識・技能	72.0		イ		⑰	知識・技能	74.3
	[う]		⑦	知識・技能	56.7		ウ		⑱	知識・技能	93.0
	[え]		⑧	知識・技能	75.0		エ		⑲	知識・技能	39.6
[4]	[あ]		⑨	知識・技能	75.5						
	[い]		⑩	知識・技能	74.1						
[5]		⑪	思考・判断・表現	46.9							

# 問 題

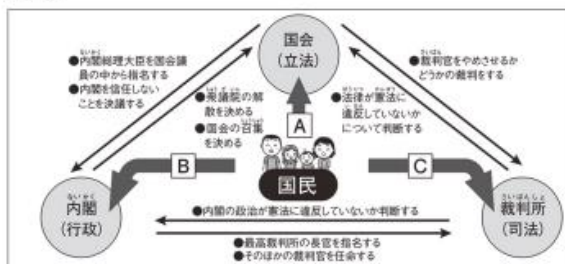
令和3(2021)年度  
奈良県社会科診断テスト問題

第6学年 組 番

名前

点

**1** 日本の政治のしくみや、国民と政治の関わりについて、次の問いに答えましょう。



(あ) 国民と政治の関わりについて、上の資料の記号に合う正しい組み合わせを次の①～④の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① A世論 B国民審査 C選挙    ② A選挙 B世論 C国民審査  
③ A国民審査 B世論 C選挙    ④ A世論 B選挙 C国民審査

答え  **63.6**

誤答例 ④(21.2) (知識・技能) ①

(い) 上の資料を見て、国会・内閣・裁判所の仕事について、次の①～③の中から正しいもの一つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① 国会は、最高裁判所の長官を指名する。  
② 内閣は、内閣総理大臣を指名する。  
③ 裁判所は、法律が憲法に違反していないか判断する。

答え  **77.4**

誤答例 ②(14.4) (知識・技能) ②

(う) 国会・内閣・裁判所を三つの機関に分け、権力が一つのところに集まることをさける政治のしくみを何といいますか。

答え  **56.0**

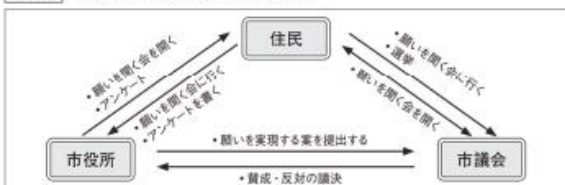
誤答(26.8)/無記入(15.9) (知識・技能) ③

**2** 次の資料①を見て、A市に住む人の願いをかなえるために、どんなしせつができればよいと考えますか。また、その願いを実現するためにどうすればよいと考えますか。願いをかなえるためのしせつとあなたの考えの両方を、資料②の図の言葉を使って書きましょう。

資料①



資料② 住民の願いが実現するまでの流れ



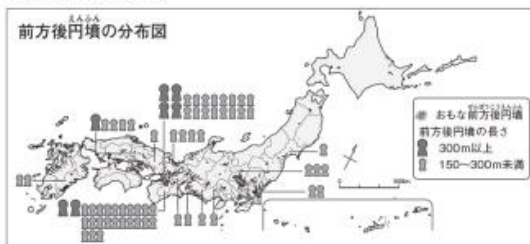
わたしは  
答え  **正答(44.5)**

(思考・判断・表現) ④

準正答(37.7)/誤答(17.9)/うち無記入(9.3)

**3** くにか統一され、天皇が中心となって政治を行っていたころについて、次の問いに答えましょう。

(あ) 次の資料を見て、下の①～③の中から正しいもの一つ選んで、その番号を書きましょう。



- ① 前方後円墳は九州から北海道までの広い範囲で作られるようになった。  
② 前方後円墳は300m以上のものがほとんどである。  
③ 前方後円墳は近畿地方で150m以上のものが数多く作られるようになった。

答え  **89.0**

誤答例 ②(5.4) (知識・技能) ⑤

(い) 次のA・B・Cの人物について、記号と名前の正しい組み合わせを下の①～④の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。



- ① A聖武天皇 B鑑真 C行基    ② A聖武天皇 B行基 C鑑真  
③ A鑑真 B行基 C聖武天皇    ④ A行基 B鑑真 C聖武天皇

答え  **72.0**

誤答例 ①(24.5) (知識・技能) ⑥

(う) 「東大寺の大仏がつくられる」を次の年表に入れるなら①～③のどこに入れますか。正しいもの一つ選んで、その番号を書きましょう。

645年 大化の改新	①
710年 平城京に都をうつす	②
794年 平安京に都をうつす	③
1192年 源頼朝が征夷大将軍に任じられる	

答え  **56.7**

誤答例 ①(22.4) (知識・技能) ⑦

(え) 次の資料を見てわかることを、下の①～③の中から正しいもの一つ選んで、その番号を書きましょう。



- ① 都まで税を運ぶのに1か月以上かかる地域があった。  
② 魚や海そうなどは3日以内で届く地域から運ばれた。  
③ 米・麦はすべて都から300km以内の地域から運ばれた。

答え  **75.0**

誤答例 ③(14.0) (知識・技能) ⑧

# 問 題

**4** 貴族が政治の中心であったころについて、次の問いに答えましょう。  
 (あ) 平安時代の貴族の生活の様子について、次の①～③の中から正しい資料の一つを選んで、その番号を書きましょう。



答え  **75.5**

誤答例 ①(18.0) (知識・技能) ④

(い) 平安時代の文化について、次の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

- ① 日本独自のかな文字が作られ、男性だけの間で使われた。
- ② このころに行われていたひな祭り・七夕などの年中行事は、今でも続いている。
- ③ 貴族の生活の様子や風景を描いた水墨画が生まれた。

答え  **74.1**

誤答例 ③(17.7) (知識・技能) ④

**5** 元との戦いの後、鎌倉幕府の力がおとろえた原因について、次の二つの資料の内容と、「ご恩」と「幕公」という言葉を使って、くわしく説明しましょう。

資料① 幕府(将軍)と武士(御家人)の関係図



資料② 元との戦い



答え

誤答(53.1)/うち無記入(10.9) (思考・判断・表現) ①

**6** 戦国の世から江戸幕府が開かれたころについて、次の問いに答えましょう。  
 (あ) 織田信長が行った政策について、下の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

- ① 刀符を行って、百姓から武器をうばった。
- ② 大名を親藩・譜代・外様に分けて厳しく支配した。
- ③ キリスト教を保護して、外国との貿易を行った。

答え  **75.1**

誤答例 ①(13.1) (知識・技能) ②

(い) 次の年表を見てわかることを、下の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

年	おもなできごと
1603	徳川家康が江戸に幕府を開く
1612	キリスト教の禁止令を出す
1615	武家諸法度を定める
1623	徳川家光が3代将軍になる
1635	武家諸法度を改め、参勤交代の制度を加える
1637	島原・天草一揆がおこる
1639	ポルトガル人の来航を禁止する
1641	オランダ人を出島に移す

- ① 徳川家光は武家諸法度を改め、参勤交代の制度を加えた。
- ② ポルトガル人の来航を禁止したことで、全ての外国との交流がなくなった。
- ③ 島原・天草一揆がおこった後に、キリスト教の禁止令が出された。

答え  **78.6**

誤答例 ②(10.7) (知識・技能) ④

(う) 次の資料と関わりのある、豊臣秀吉が行った政策の名前を書きましょう。また、これにより百姓が受けたえいきょうを書きましょう。



百姓は

答え

誤答(55.9)/うち無記入(21.5) (思考・判断・表現) ④

**7** 次の地図を見て、ア・イ・ウ・エの都道府県の名前を書きましょう。



※都・道・府・県まで正しく書きましょう。

ア	<b>山形県</b>	④ 47.6
イ	<b>東京都</b>	④ 74.3
ウ	<b>奈良県</b>	④ 93.0
エ	<b>佐賀県</b>	④ 39.6

(7)は全て知識・技能)

- ア 誤答例 他の東北地方の県(21.7)
- イ 誤答例 無記入(8.9)
- ウ 誤答例 無記入(3.3)
- エ 誤答例 他の九州地方の県(33.1)

## 1の考察

〔あ〕は、国民が政治に参加する仕組み（世論・選挙・国民審査）について選択する「知識・技能」の問題で、正答率は63.6%であった。主な誤答は④の21.2%であった。これは国民が選挙で国会議員を選ぶことを十分に理解できていなかったためと考えられる。

〔い〕は国会・内閣・裁判所の仕事について、資料を見て読み取る「知識・技能」の問題で、正答率は77.4%であった。主な誤答は②で14.4%であった。これは、資料の中の国会・内閣・裁判所の役割をしっかりと読み取る力が不十分であったためと考えられる。

〔う〕は「三権分立」を記述する「知識・技能」の問題で、正答率は56.0%であった。誤答が26.8%で、無記入は15.9%であった。「三権分立」は日本の政治の根幹をなす仕組みであり、用語とともにその意味も合わせて理解させることが望まれる。

公民的分野の学習は、生活と関わりが深い内容も多い。そのため、自分たちの身近な社会的事象と関連付けたり、現代社会の課題について話し合ったりする学習活動を行うことで、児童が自分事として捉えられるよう、指導をしていくことが重要である。

## 2の考察

大問2は、2つの資料から、住民の願いと行政が住民の願いを実現する流れの関連を記述する「思考・判断・表現」の問題で、正答が44.5%、準正答が37.7%、誤答が17.8%であった。児童の解答を以下のように分類した。

大問2	解答の分類	割合 (%)	
正答	わたしは【公園・体育館・プールなど運動できる施設】をつくれればいいと思います。だから、願いを聞く会〔資料②の語句を使っているもの〕に行き願いを市役所の人に伝えたらいいと思います。	46.2	
準正答	△資料①のみ	24.0	36.9
	△資料②のみ	10.7	
	△両方の資料を使っているが、資料②の言葉を使っていないもの	2.2	
誤答	×資料の読み取りができていないもの	6.7	16.9
	×問題とかけ離れたもの	1.1	
	×無記入	9.3	

（上記の結果は、何校かを抽出して追跡調査したものです。）

結果から、資料①にのみ着目している準正答の割合が高くなっている。これは、住民の願いは資料から読み取れているが、住民の願いを実現するために市役所や市議会がどのような働きをしているのかを読み取れていないことが考えられる。また、行政側の立場で解答していたり、願いを実現する具体的な方法の記述がなかったりする記述も見られた。まずは市役所や市議会、住民がどのような関係で結びついているのか正しく理解することが必要である。その上で、自分たちが願いを実現

するために、具体的にどのような行動ができるのか、選択・判断する学習場面を設定していくことで、国民生活における政治の働きについて捉えることができると考える。

今年度は初めて公民的分野の作問を行った。児童が答えやすい簡潔なリード文や解答欄の工夫についても今後検討していきたい。

### 3の考察

〔あ〕は、前方後円墳の分布図を読み取る「知識・技能」の問題で、正答率は89.0%であった。資料から前方後円墳の分布や大きさなどの読み取ることができる児童が多かった。

〔い〕は、奈良時代の人物名と働きを選択する「知識・技能」の問題で、正答率は72.0%であった。誤答の24.5%が行基と鑑真を入れ替えたもので、2人の僧がどのようなことを行ったかを正確に理解できていないためだと考えられる。

〔う〕は、年表を活用して、大仏造営の時期を選択する「知識・技能」の問題で、正答率は56.7%であった。大化の改新後に造営されたという誤答が22.4%、平安京に都を移してから造営されたという誤答が20.1%であった。これは、大化の改新により天皇中心の国づくりがすすめられ、平城京への遷都し、天皇の影響力が全国に及んだことが理解できていなかったり、平城京や大仏が奈良にあることを十分に理解できていなかったりしたためであると考えられる。そのため、天皇中心の国づくりがどのように確立したかを人物の働きを調べ、関連付けながら理解させる学習が必要であると考える。同時に、大仏造営に込められた聖武天皇の願いを考えることも望まれる。さらに、平城京や平安京の位置を理解していないことから、年表や地図帳を活用し、相互関係や文化遺産の位置などについても指導することが大切である。

〔え〕は、奈良時代の各地の特産物と税を運ぶ日数を示した資料を読み取る「知識・技能」の問題で、正答率は75.0%であった。主な誤答は③の14.0%であり、これは、縮尺を使って距離を測ったり、地図中の記号を見つけたりすることができていなかったためであると考えられる。今後、地図中に含まれる多様な情報を読み取る力をつけていく学習が望まれる。

### 4の考察

〔あ〕は、平安貴族の生活についての資料から選択する「知識・技能」の問題で、正答率は75.5%であった。概ね理解していると言えるが、武士の屋敷を選択した誤答が18.0%あり、それぞれの時代に合った生活の特徴をつかんでいく必要があると考える。

〔い〕は、平安時代の文化について選択する「知識・技能」の問題で正答率は74.1%であった。主な誤答は③の17.7%で、時代による文化の違いを理解していない児童が多いと考えられる。絵画などの資料を手掛かりに、それぞれの時代の生活や文化の特徴を整理し、捉えさせることが大切である。

### 5の考察

ご恩と奉公の関係と元との戦い後に、鎌倉幕府の力が衰えていった原因について記述する「思考・判断・表現」の問題で、正答率は46.9%であった。児童の解答を以下のように分類した。

大問5	解答の分類	割合 (%)	
正答	○元と戦ったのに領地をもらえなかったので、ご恩と奉公の関係がくずれたから。 ○元との戦いでは、奉公である戦いや役目を果たしたのに、領地というご恩がもらえず、幕府と御家人の関係が悪くなったから。	45.8	
誤答	×資料①のみ	7.1	54.2
	×資料②のみ	16.4	
	×両方の資料を使っているが、ご恩と奉公の言葉を使っていないもの	3.3	
	×幕府の力が衰えていった原因がとらえられていないもの	5.8	
	×資料の読み取りができていないもの	6.2	
	×問題とかけはなれたもの	5.8	
	×無記入	9.6	

(上記の結果は、何校かを抽出して追跡調査したものです。)

誤答の中には、一つの資料のみを使っての解答や、ご恩と奉公の言葉がない解答が多く見られた。また、ご恩と奉公の関係について正しく理解できていない解答もあった。このことから、2つの資料から、元との戦いによりご恩と奉公の関係が崩れたことを関連付けて記述することができなかつたと考えられる。歴史的分野における社会的事象を深く理解するためには、資料から人物の働きや外国との関係などを読み取り、見方・考え方を働かせ、関連付けたり総合したりし、表現する活動が必要であると考え。そのために、児童自らが考え、表現する学習の機会を設定することが大切である。

### 6の考察

〔あ〕は、織田信長の行った政策について選択する「知識・技能」の問題であり、正答率は75.1%であった。24.0%の児童が、秀吉・家康が行った政策と混同しており、戦国の時代がどのような流れで統一されていったかを十分に理解できていないと考えられる。

〔い〕は、江戸幕府が開かれてから鎖国が完成するまでの年表を読み取る「知識・技能」の問題で、正答率は78.6%であった。誤答として「ポルトガル人の来航を禁止したことで、全ての外国との交流がなくなった。」が10.7%あり、年表の「オランダ人を出島に移す。」という記述が読み取れていないと考えられる。普段の学習の中で、年表を見る際には大まかな歴史の流れを読み取らせるとともに、それぞれの歴史的事象の意味について正しく理解させることが必要である。そのために、自分たちで年表を読み取り、わかったことを記述させるといった指導が必要だと考える。

〔う〕の⑭は資料から「検地」を記述する「知識・技能」の問題で、正答率が49.6%であった。検地の様子が描かれた絵や、検地で使用されていた道具などの資料から検地を導き出すものだが、誤答が23.3%、無記入が26.3%と多かった。資料と「検地」を結びつけることができなかつたためであると考えられる。

⑮は、豊臣秀吉が検地によって農民への支配をかためたことについて記述する「思考・判断・表現」の問題であり、正答率は44.1%であった。児童の解答を以下のように分類した。

大問 5	解答の分類	割合 (%)	
正答	○決められた年貢を納めなければならなくなった。 ○農業だけに専念しなくてはならなくなった ○身分がはっきりと区別されるようになった。	46.9	
誤答	×資料の読み取りが正しくできていないもの	34.4	53.1
	×無記入	18.7	

(上記の結果は、何校かを抽出して追跡調査したものです。)

主な誤答は、「資料の読み取りが正しくできていないもの」が34.4%であった。これは検地により百姓が受けた影響がどのようなものだったかを捉えられていなかったためであると考えられる。また、政策とその効果がどのようにつながっているのかについて深く理解できていないことが考えられる。また、無記入も多いことから、理解していることを文章で表現することができなかつた児童もいたのではないかと考えられる。歴史的分野で重要な用語を覚えるだけでなく、それらの意味や影響を関連付け、総合的に捉え、記述する学習活動が必要になると考える。

## 7の考察

大問7は、都道府県の位置と名称について問う「知識・技能」の問題であった。正答率は、「山形県」が47.6% (56.5%) , 「東京都」が74.3% (77.9%) , 「奈良県」が93.0% (93.5%) , 「佐賀県」が39.6% (52.6%) であった。※ () は5年生の正答率を表している。

それぞれの都道府県の誤答は5年生と同様の傾向が見られ、大まかな場所は理解しているが、正確な位置を理解できていない誤答が多く見られた。また、上記の結果を見ればわかるように、5年生と比較すると、すべての都道府県で正答率が下がっていた。このことから、学年が上がるにつれて、都道府県の位置と名称についての知識が薄れていくことが分かる。

都道府県の位置と名称は主として4年生で学習するが、5年生や6年生でも習熟度を確認し、地図帳で調べるなどして繰り返し学習していくことで、知識を定着させることができると考える。